

EST普及推進フォーラム ラウンドテーブル3【RT3】
(案)

「利用者に対する意識啓発の取組みについて」

司会 山本 俊行 名古屋大学大学院環境学研究科助教授

テーブルメンバー

上岡 直見 環境自治体会議環境政策研究所主任研究員
波多野 肇 社団法人日本民営鉄道協会常務理事
谷口 綾子 筑波大学大学院システム情報工学研究科講師
松橋 啓介 国立環境研究所社会環境システム研究領域主任研究員
渡邊 一弘 環境省水・大気環境局自動車環境対策課課長補佐
秦野市行政担当者 (H17年度選定)
和泉市行政担当者 (H18年度選定)

【概要】

ESTを実現・継続していくためには、公共交通の整備といった「物理的・構造的な側面」だけではなく、それを利用する人々の行動といった「社会的・心理的な側面」にも配慮しなければならない。しかしながら、これまでの交通施策は「物理的・構造的な側面」に集中し、「社会的・心理的な側面」については、具体的なノウハウや効果の計測について整理が十分ではなかった。

この「社会的・心理的な側面」に着目した施策として、モビリティ・マネジメント(MM)が挙げられる。MMとは、一人一人の移動が個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーション施策と、その自発的变化をサポートする運用施策とを合わせたソフト的な交通施策の事である。この望ましい方向とはすなわち、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向である。

本RTでは、このMMを中心に一般的な需要喚起も含めた意識啓発の取組みについて議論を行う。具体的には、ESTモデル事業で既に選定された自治体におけるMMの取組状況と現地での課題、新規に選定された自治体において今後取組むMMの内容と既実施自治体への質問から、MMを成功へ導くためのあるべき方向性と今後の展開について意見交換・議論を行う。さらに一般の聴衆からの意見も交えて議論する。